

研究課題番号	5RF-1902
研究課題名	硝酸イオンの効率的除去に向けた超高選択性無機アニオン交換体の開発
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	信州大学
研究代表者名	簾 智仁

1. 委員の指摘及び提言概要

LDH の特性を利用して硝酸性窒素の除去を目指した重要な研究であり、基礎的な研究成果であるが、科学的な新たな知見が得られている。硝酸については、国内外で今後も重要な課題であり、イオンの選択性やコストの問題など残された問題は多いが、離島や海外での活用に加えて、浄水場政策によって国内の農業地域においても有用となる可能性がある。今後、汚染物質の選択性や破かの評価のため流通系の実験を実施し、具体的な事例を積み上げて経済性も検討した上で実装可能性などについてさらなる考察や検討を期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A